

한국어

重要 정보

경고:
화재 또는 충격 위험을 방지하기 위해 이 장치를 비 또는 습기에 노출시키지 않습니다.

주의:
이 장치에 액체를 떨어뜨리거나 튀기지 않습니다.
감전을 방지하기 위해 케이블을 열지 않습니다.
유지적 적절하게만 서비스를 문의하십시오.
열광, 라열 또는 기타 열광을 통해 발생한 과도한 열에 이 장치를 노출시키지 않습니다.
이 장치에 강한 충격을 가하지 않습니다.
연제라도 AC 어댑터를 쉽게 잡아뽑을 수 있도록 이 장치를 AC 콘센트 근처에 배치해야 합니다.
긴급한 경우에는 AC 어댑터를 즉시 분리하십시오.

꽃병과 같이 액체가 들어있는 물체를 이 장치에 올려 놓지 않습니다.
화재를 방지하기 위해 이 장치 위에 가리개 같은 불꽃 발생원(예: 커진 초)을 놓지 않습니다.
이 장치를 직한 또는 이와 유사한 가구나 재료에 떨어진 공간에 설치하지 않습니다.
환기가 잘 되는 곳에만 이 장치를 설치하십시오.
정적 라벨은 이 장치 하단에 표시되어 있습니다.

건전지 주의:

건전지를 어린이의 손이 닿지 않는 곳에 보관하십시오.
표시되어 있는 극성을 올바르게 준수하십시오.
직사광선, 불과 같은 과도한 열에 건전지를 노출시키지 않습니다.
형상 환경 문제를 고려하여 건전지를 처분할 때는 지역 규정에 따라 주십시오.
다 쓴 건전지는 즉시 분리하십시오.
건전지를 장기간 사용하지 않게 교체할 경우 폭발의 위험이 있습니다. 사용하던 것과 같은 종류 또는 적합한 규격의 배터리로 교체하십시오.

미국 소비자자유

FCC 고지사항

경고:
본 장치는 FCC 규칙의 파트 15를 준수합니다.
작동은 다음의 두 가지 조건을 전제로 합니다. (1) 본 장치는 해가 되는 유해한 간섭을 야기하지 않거나, (2) 원하지 않는 작동들 야기할 수 있는 전파 방해를 포함한 다른 전파를 수용해야 합니다.

주의:
본 설명서에서 명백하게 승인하지 않는 변경 또는 개조 할 경우 본 장비를 사용하는 사용자의 권리를 상실할 수 있습니다.

참고:
본 장비를 테스트한 결과 등급 B 디지탈 장치에 대한 제한을 따르고 FCC 규칙의 파트 15를 준수하고 있습니다. 이러한 제한은 추가용으로 설치 시 유해한 간섭을 발생시키지 않도록 적절한 보호를 하기 위한 것입니다. 본 장비는 라디오 주파수 에너지를 생성, 사용 및 전파하며 설치 및 사용을 안내서에 따르지 않으면 라디오 통신에 유해한 간섭을 야기할 수 있습니다. 어떠한 경우에도 설치에서 방해가 발생하지 않는다고 보장할 수는 없습니다. 본 장비로 인해 라디오 또는 텔레비전의 수신이 방해되면(이는 수비를 강타가 처벌을 면할 수 있음) 사용자는 다음 목록 중 하나 이상의 방법으로 방해를 바로 잡을 수 있습니다.
- 수신 안테나 방향을 돌려보거나 위치를 다시 정착하십시오.
- 장비와 수신기 사이의 거리를 더 늘리십시오.
- 수신기가 연결되어 있지 않은 다른 회로상의 콘센트에 장비를 연결하십시오.
- 판매처나 숙련된 라디오/TV 기술자에게 도움을 요청하십시오.

캐나다 소비자자유

IC 안내문

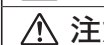
CAN RSS-Gen/CNR-Gen
이 장치는 INDUSTRY CANADA R.S.S.를 따르고 있습니다. 210. 작동은 다음의 조건을 전제로 합니다. (1) 본 장치는 해가 되는 유해한 간섭을 야기하지 않거나, (2) 원하지 않는 작동들 야기할 수 있는 전파 방해를 포함한 다른 전파를 수용해야 합니다.

이 장치는 규제를 받지 않는 환경에서 명시된 RSS-102 방사선 노출 제한을 준수합니다.

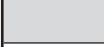
日本語

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

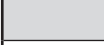
■ 本製品について

	警告
- 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の場所では使用しない ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。 - 本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用製薬機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 - 本製品を航空機内で使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 - 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 - 指定の電池 / 充電式電池以外使用しない 故障、不具合の原因になります。 - 付属のACアダプター以外使用しない 電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。 - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。 - 火気に近付けない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない 火災の原因になります。 - 分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - 強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - 濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。 - 水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - しゃべったりや布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。 - 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。 - 電源電圧設定を変えない 火災の原因になります。	

注意

- すぐにコンセントからACアダプターを抜くことができる場所に置く
電源ボタンを切っても、コンセントからは完全に遮断されていません。故障、不具合の原因になります。
- 不安定な場所に置かない
本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- 換気の悪い場所に置く
本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。
- 本製品の上に物(花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など)を置かない
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- アンテナで目を突いたりしない
けがの原因になります。

■ ACアダプターについて

	警告
- 表示している電源電圧以外で使用しない 過熱による火災など事故の原因になります。 - 本製品以外には使用しない 過熱による火災など事故の原因になります。 - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。 - コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない 過熱による火災など事故の原因になります。 - コンセントや本体にプラグを差し込むときは横元まで確実に差し込む 過熱による火災など事故の原因になります。 - コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする 断線、故障の原因になります。 - コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない 断線、故障の原因になります。 - 分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - 強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 - 濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。 - 布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。 - プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る 電源ボタンを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントからACアダプターを抜くことができるようにしてください。	

注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーに配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。
- 通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。

■ 電池 / 充電式電池について

指定電池 / 充電式電池以外は使用しないでください。

指定電池 / 充電式電池	単3形アルカリ乾電池(2本)または単3形ニッケル水素電池(2本)
	
- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。 - 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。	

	警告	*1は充電式電池 *2は電池についてのみの内容になります。
- 火の中に入れない。加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない 発熱、破裂、発火の原因になります。 - 幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。 - 電池は(+) (－)を逆に入れない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 便筒やカセットなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の(+)と(－)を接触しない ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 新しい電池と一度使用した電池、乾電池や種類の違う電池を混ぜて使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 乾電池は充電しない(*2) 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 使い切った電池はすぐに取り出す 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 長期間使用しない場合は電池を取り出す 液漏れによる故障の原因になります。		

	注意	*1は充電式電池 *2は電池についてのみの内容になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 以下の場所での使用、放置、保管しない ■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 ■炎天下の車内 ■土などなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。 - 水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。 - 指定の充電器、ACアダプター以外で充電しない (*1) 故障や火災の原因になります。 - 外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない ショート状態になりやす、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 変形させたりハンダ付けしない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る 液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。 - 指定の電池以外使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 - 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する(*2) 環境保全に配慮してください。		

■ 充電式電池のリサイクルについて

充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子(金属部分)にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページhttp://www.baj.or.jpをご覧ください。

保証と規定について (必ずお読みください)

For Japan Only

本製品の保証は、定められた保証期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。本製品の保証は日本国内でのご購入と使用の場合のみ有効です。
(This warranty is valid only for products purchased and used in Japan.)
本製品には保証書が付属しておりません。お買い上げの際の領収書またはシートなどは大切に保管してください。修理の際、保証開始日の確認のためにご提示いただきます。保証期間中に、取扱説明や接続・注意書きに沿ったご使用において、故障や品質不良が発生した場合は、お買い上げ日より1年間を製品保証期間として無料修理(製品により無料代替)をさせていただきます。消耗・摩耗した部品、その他の付属品、及び本製品や接続した機器のソフトウェアやデータなどは補償いたしません。また保証期間内でも以下の場合、製品保証は適用されません。
1. ご購入年月日(保証開始時期)を証明するもの(お買い上げシートなど)がない場合。
2. お買い上げ後の落下・圧迫・衝撃などによる損傷、変形。
3. 取り扱いの誤りによる故障。
4. 本製品以外の機器が原因となって生じた故障。
5. 当社以外で行われた修理や分解、改造で生じた故障。
6. 天災、公害、塩害、ガス害、異常電圧など、不可抗力による故障。
7. そのほか当社の合理的判断に基づき有料と認められる場合。

■ 製品保証期間後について

製品保証期間経過後も、有料で修理または製品代替をいたします。本製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品)は、生産完了後6年をめどに保有しています。

■ その他

保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品をお送りいただく場合は、お客様に送料をご負担いただきます。予めご了承ください。

■ お問い合わせ先(電話／平日9:00～17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

■ お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた)

(携帯電話: PHSなどのご利用は03-6746-0211
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

■ サービスセンター(修理・部品)

(携帯電話: PHSなどのご利用は03-6746-0212
Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

■ ホームページ(サポート)

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1 www.audio-technica.co.jp

Warranty (Please be sure to read the notes below.)

End-User LIMITED WARRANTY information for the USA is available at www.audio-technica.com/usawarranties. You may also contact Audio-Technica U.S., Inc. to request a written copy of the Limited Warranty at 1-330-686-2600 or via mail at 1221 Commerce Drive, Stow, OH 44224.

Communication specifications / Spécifications pour la communication/ Kommunikationsdaten / Specifiche di comunicazione / Especificaciones de comunicación / Especificações de comunicação / Технические характеристики связи / 通信規格 / 通訊規格 / 통신 사양 / 通信仕様	
RF output / Sortie des radiofréquences / HF-Ausgang / Uscita RF / Salida de radiofrecuencia / Potência de saída de radiofrecúncia / Выходная мощность РЧ / 射頻輸出 / 無線輸出功率 / RF 출력 / RF出力*	High: 30 mW, Low: 10 mW at 50 ohm, switchable
Frequency band / Bande de fréquence / Frequenzband / Banda di frequenza / Banda de frecuencia / Banda de frequências / Диапазон частот / 頻帯 / 使用頻率範圍 / 주파수 대역 / 使用周波數帯域	Band DE2: 470.125 to 529.875 MHz Band EF1: 530.000 to 589.875 MHz Band EF1: 590.000 to 649.975 MHz Band FG1: 650.000 to 699.875 MHz Band GG1: 727.100 to 786.900 MHz Band GH2: 794.100 to 805.900 MHz Band HH1: 806.125 to 809.750 MHz Band HH2: 821.100 to 831.900 MHz 863.100 to 864.900 MHz Band JJ1: 925.100 to 937.400 MHz

* Please note that some frequency bands and RF output might not be available in your territory or could come with a limited tuning bandwidth/transmitting power due to local regulations.

■ About User Manual / 取扱説明書について

For details, refer to the user manual available for download on our website: www.audio-technica.com
本製品の使いかたを詳しく知りたい場合は、当社ホームページ(www.audio-technica.co.jp)からダウンロードできる取扱説明書を確認してください。



株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

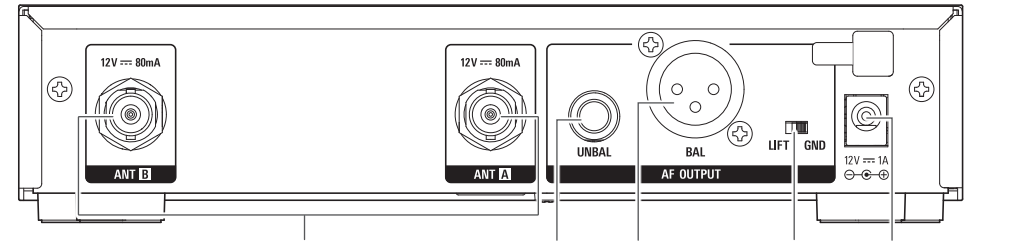
Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2022 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com

ver.1.07.12.15
ver.5.2022.09.15

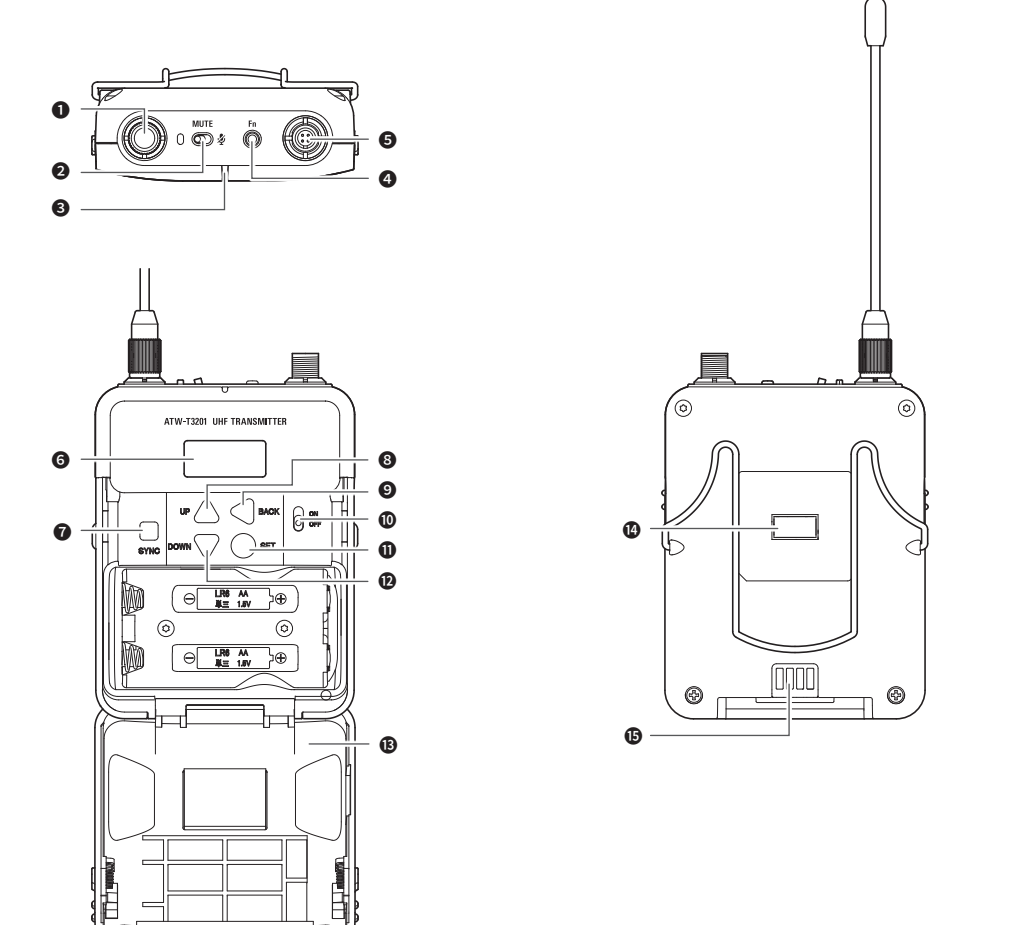
■ Part names and functions / 各部の名称

■ ATW-R3210

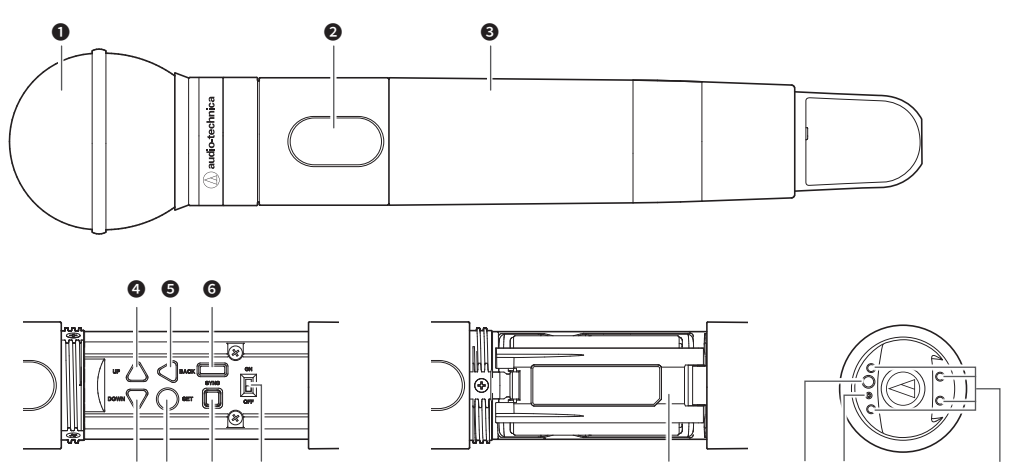
	1 Power button / 電源ボタン 2 IR sync window / IR 受光部 3 Display / ディスプレイ 4 BACK button / BACKボタン 5 Control dial / コントロールダイヤル
--	---

	1 Antenna input jack / アンテナ入力端子 2 Unbalanced output jack / アンバランス出力端子 3 Balanced output jack / バランス出力端子 4 Ground lift switch / グランドリフトスイッチ 5 Power input jack / DC入力端子
---	--

■ ATW-T3201 / ATW-T3201a

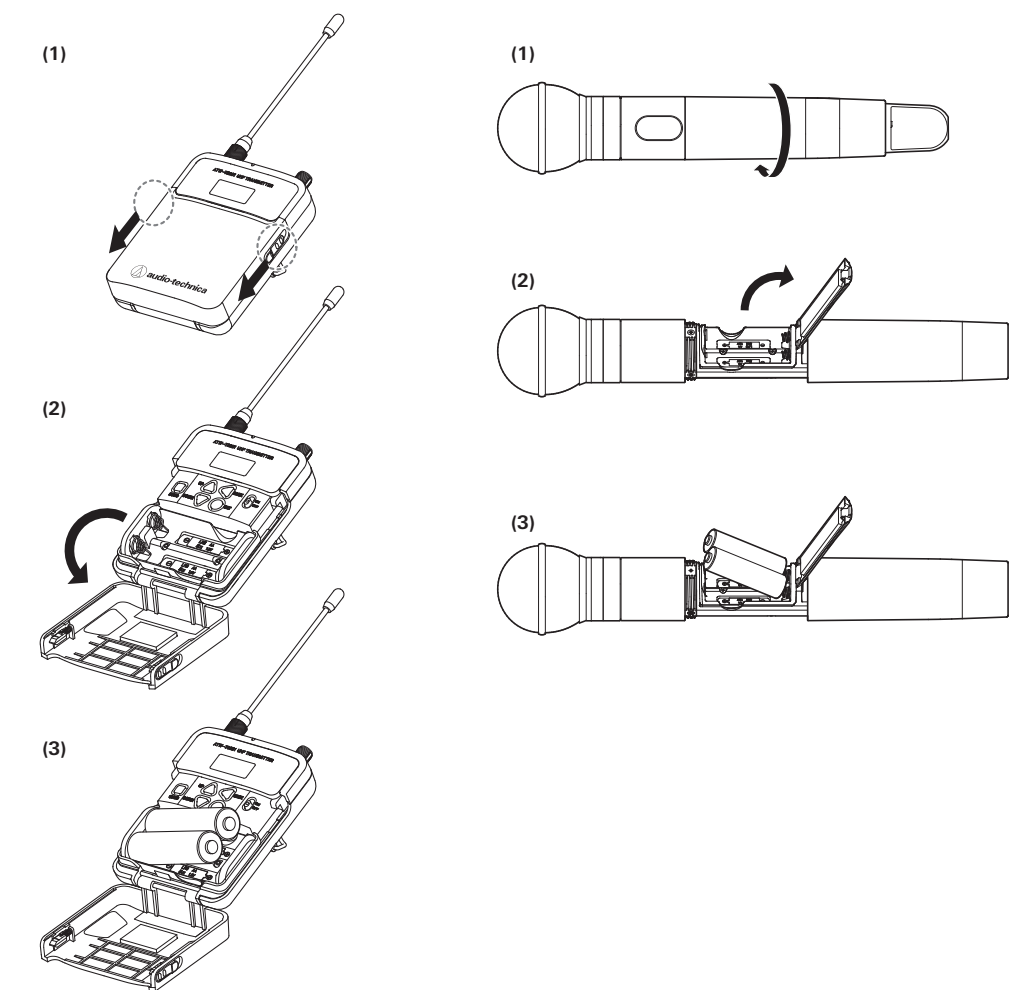
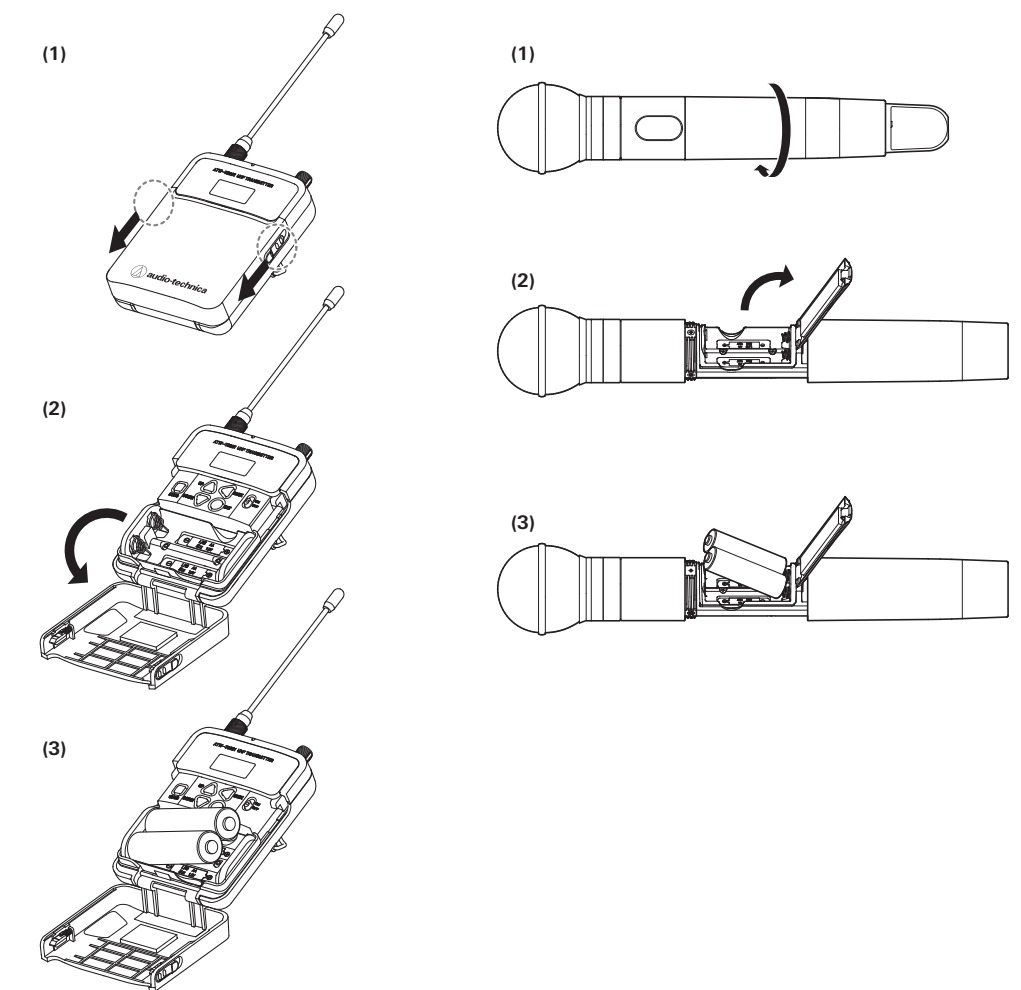
	1 Transmission antenna / 送信用アンテナ 2 MUTE switch / MUTEスイッチ 3 Indicator / インジケーター 4 Function button / ファンクションボタン 5 Input connector / 入力コネクター 6 Display / ディスプレイ 7 SYNC button / SYNCボタン 8 UP button / UPボタン 9 BACK button / BACKボタン 10 Power switch / 電源スイッチ 11 SET button / SETボタン 12 DOWN button / DOWNボタン 13 Battery cover / 電池カバー 14 IR sync window / IR 受光部 15 Charging terminals / 充電端子
--	---

■ ATW-T3202 /ATW-T3202a

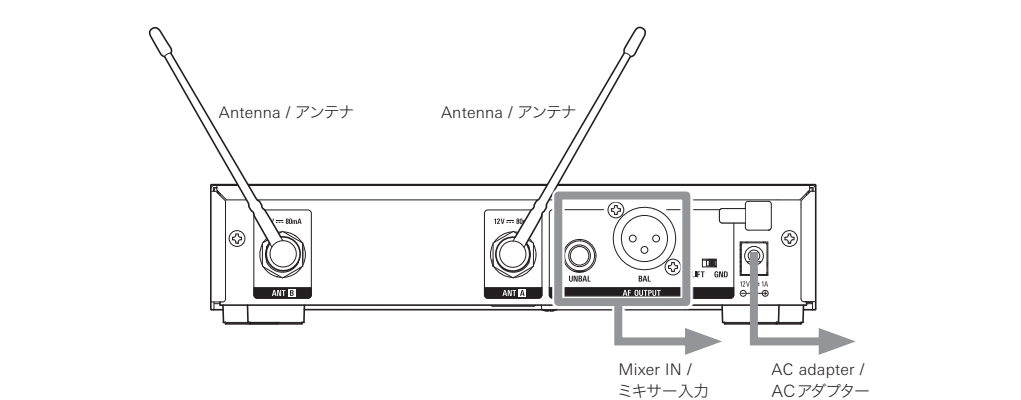
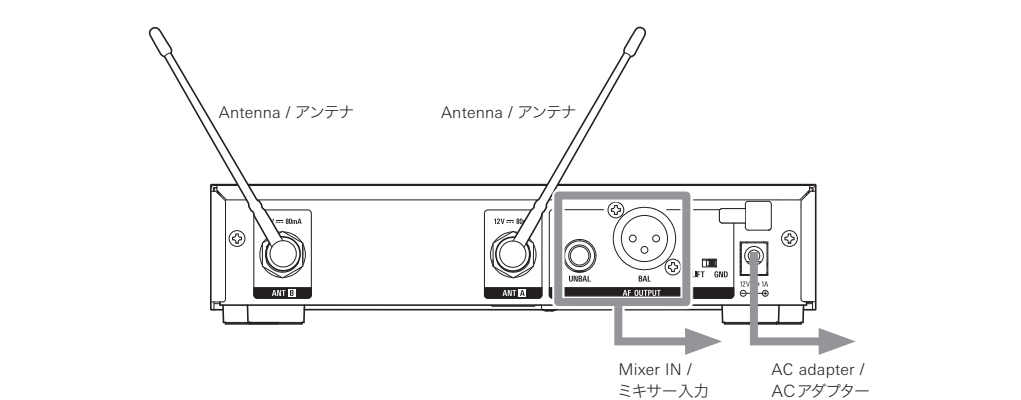
	1 Interchangeable capsule / インターチェンジャブルマイクrohncapセル 2 Display / ディスプレイ 3 Grip case / グリップケース 4 UP button / UPボタン 5 BACK button / BACKボタン 6 IR sync window / IR 受光部 7 DOWN button / DOWNボタン 8 SET button / SETボタン 9 SYNC button / SYNCボタン 10 Power switch / 電源スイッチ 11 Battery cover / 電池カバー 12 Function button / ファンクションボタン 13 Indicator / インジケーター 14 Charging terminals / 充電端子
---	--

■ Inserting batteries / 電池の入れ方

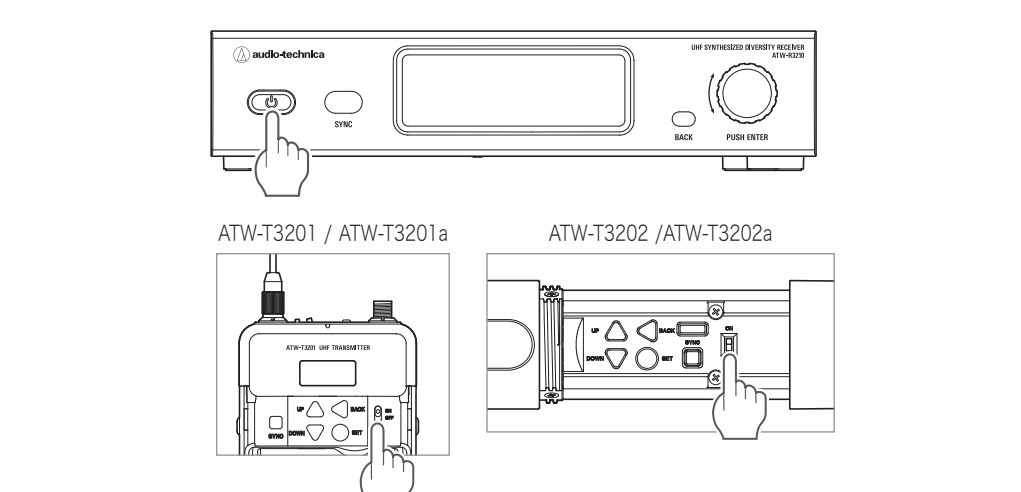
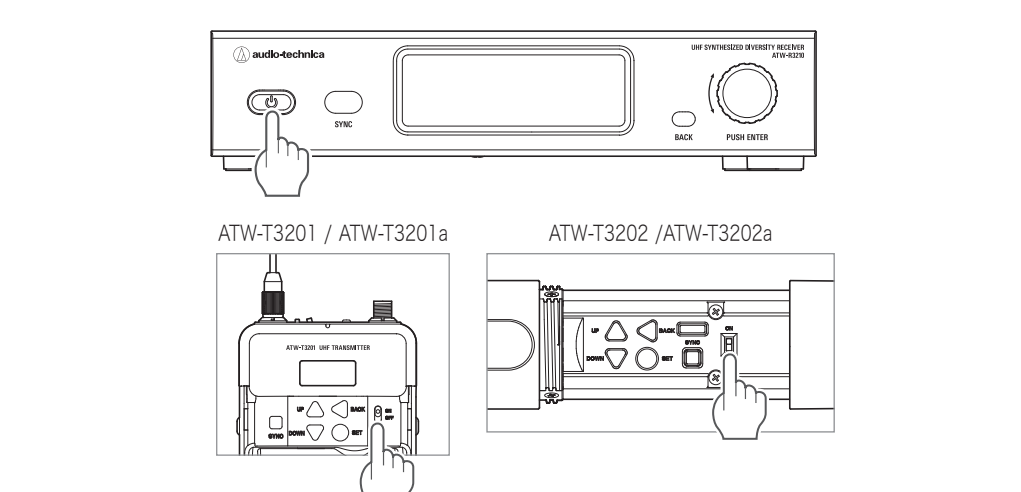
■ ATW-T3201 / ATW-T3201a

	
--	--

■ Making connections / 接続方法

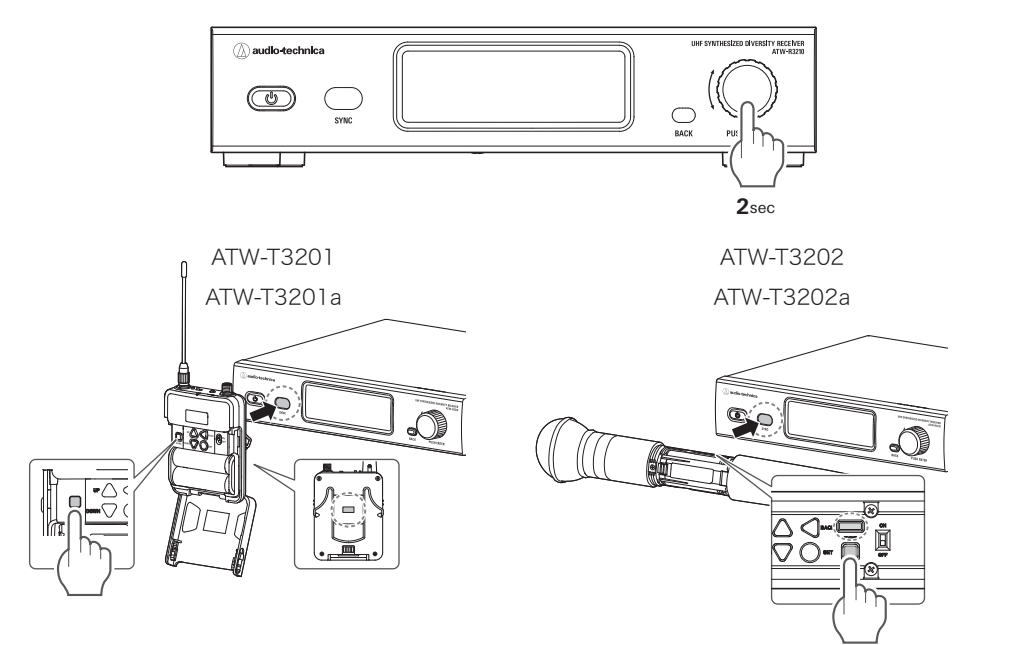
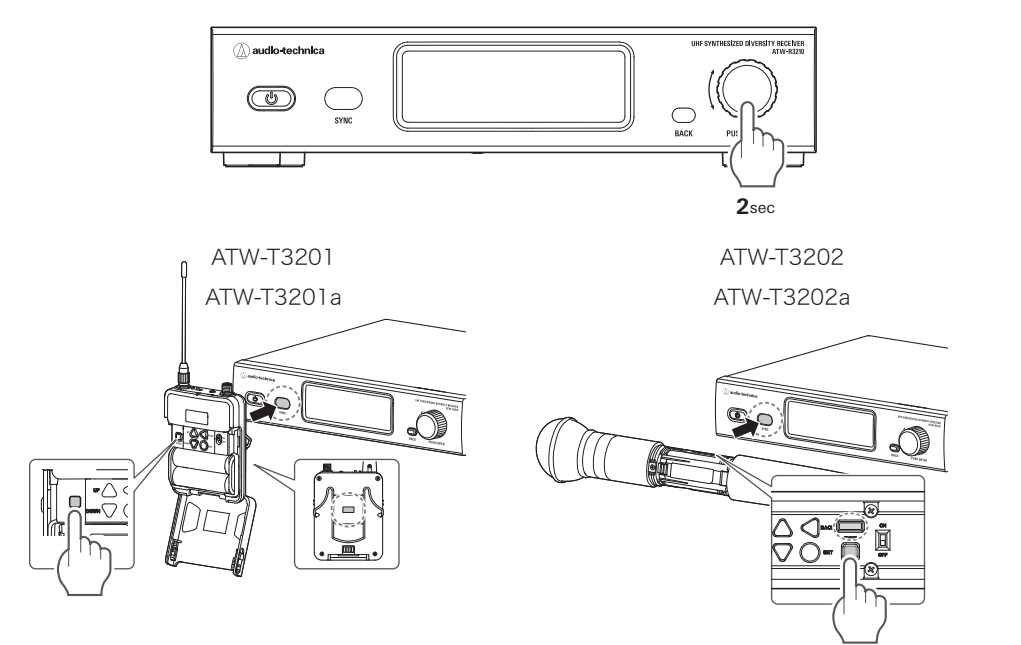
	
--	--

■ Turning the power on / 電源を入れる

	
---	---

■ About IR QUICK SYNC / IR QUICK SYNCについて

You can easily send the frequency and the channel name of the receiver with QUICK SYNC. Refer to the user manual for full details on how to set frequency and channel name.
QUICK SYNCを使用すると、受信機の周波数とチャンネル名を送信機に簡単に送ることができます。周波数とチャンネル名の設定について詳しくは取扱説明書をご確認ください。

	
---	---